



4

外部組織との連携



外部組織との連携

社会への宣言・ イニシアティブへの参画



持続可能な社会の形成に向けた金融
行動原則 (21世紀金融行動原則)

▶ [21世紀金融行動原則](#)



女性のエンパワーメント原則
(WEPs)

▶ [女性のエンパワーメント原則](#)



国連グローバル・コンパクト
(UNGC)

▶ [国連グローバル・コンパクト10原則](#)
▶ [国連グローバル・コンパクト](#)

Signatory of:



国連責任投資原則
(PRI)

▶ [国連責任投資原則](#)



Access to Medicine
Foundation

▶ [Access to Medicine Foundation](#)
▶ [Access to Medicine Index](#)



国際コーポレート・ガバナンス・
ネットワーク (ICGN)

▶ [ICGN](#)



ジャパン・スチュワードシップ・
イニシアティブ (JSI)

▶ [ジャパン・スチュワードシップ・
イニシアティブ \(JSI\)](#)



一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム

▶ [一般社団法人機関投資家協働対話フォーラム](#)



IFRS Sustainability Alliance

▶ [IFRS Sustainability Alliance](#)



30% Club Japan

▶ [30% Club Japan](#)



インパクト志向金融宣言

▶ [インパクト志向金融宣言](#)

(注) イニシアティブの加盟順に掲載しております。

外部組織との連携

社会への宣言・ イニシアティブへの参画

気候変動・自然資本関連イニシアティブ



RE100

▶ [RE100](#)



Climate Action 100+

▶ [Climate Action 100+](#)

THE NET-ZERO
ASSET OWNER
ALLIANCE

THE NET-ZERO ASSET
OWNER ALLIANCE

▶ [THE NET-ZERO ASSET
OWNER ALLIANCE](#)



GLASGOW FINANCIAL ALLIANCE
FOR NET-ZERO (GFANZ)

▶ [GLASGOW FINANCIAL ALLIANCE FOR
NET-ZERO \(GFANZ\)](#)



Spring



自然関連財務情報開示タスクフォース
(TNFD) フォーラム

▶ [Taskforce on Nature-related
Financial Disclosures](#)



脱炭素成長型経済構造移行推進機構
(GX 推進機構)

▶ [脱炭素成長型経済構造移行推進
機構 \(GX 推進機構\)](#)

(注) イニシアティブの加盟順に掲載しております。

イニシアティブとのかかわり方について

当社では、気候変動回避に取り組む団体の活動を支援し、積極的に関与しています。万が一、これらの団体の方針が当社の方針より著しく弱いものであったり、整合性がとれない場合には、整合性を保つよう働きかけを行うとともに、乖離が大きく整合性を保つことが困難な場合には適切な措置をとることとしています。

外部組織との連携

社会への宣言・ イニシアティブへの参画

海外グループ会社での加盟状況

海外グループ会社においても、イニシアティブへの参加を通じ、持続可能な社会を実現するための取組みを推進しています。

プロテクティブでは、National African American Insurance Associationに加盟しており、TALでは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱する持続可能な保険原則（PSI）に署名しているほか、The Tobacco-Free Finance Pledgeにも加盟しています。

オーシャンライフでは、Thailand Carbon Neutral Network、Sustainability Disclosure Community（SDC）に加盟しています。



National African American Insurance Association

▶ [National African American Insurance Association](#)



The Tobacco-Free Finance Pledge

▶ [The Tobacco-Free Finance Pledge](#)

国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）

▶ [国連環境計画・金融イニシアティブ](#)



Thailand Carbon Neutral Network



持続可能な保険原則（PSI）

▶ [持続可能な保険原則](#)



Sustainability Disclosure Community (SDC)

外部組織との連携

社会への宣言・ イニシアティブへの参画

サステナビリティに関する社外との対話

CDP

- ▶ [CDP](#)
- ▶ CDP 気候変動質問書への回答は[こちら](#)

ISSBの気候基準への賛同の署名

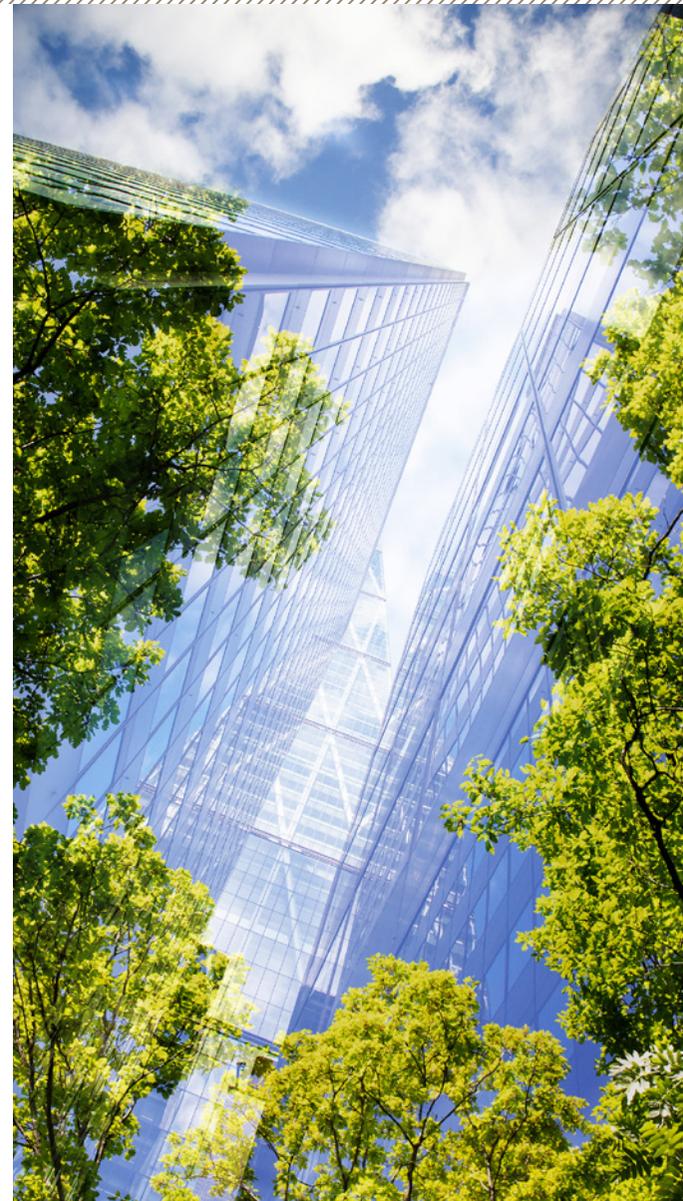
- ▶ [COP28 Declaration of Support \(英語のみ\)](#)

経団連での活動を通じた気候変動取組み

当社では経団連での活動を通じて気候変動問題の緩和に取り組んでいます。当社会長の稲垣が副議長を務める経団連では、2024年4月「経団連カーボンニュートラル行動計画」を公表しました。また、稲垣は経団連OECD諮問委員会の委員長として、OECDへの期待を込めた提言をとりまめ、コマンOECD事務総長および外務大臣へ建議しています。その提言の中では、アジアの視点として、途上国を含め、カーボンニュートラルに向けた多様かつ着実な取組みを促す観点から、さまざまな排出削減に資する技術も認証の対象に含めることが求められることを記載しています。

経団連自然保護協議会

第一生命では経団連自然保護協議会に加盟しています。経団連自然保護協議会は、リオの地球サミット（環境と開発に関する国連会議）が開催された1992年に、「経団連地球環境憲章」の考えを自然保護分野で実践する組織として、経団連により設立され、企業が自然保護活動を行う上での支援と、社会への貢献を目的としています。



外部組織との連携

社外からの評価・ 主な受賞

ESG インデックスの主な組入れ

FTSE4Good Index Series^{※1}

世界的なインデックス企業である英国のFTSE Russell社により、環境 (Environment)、社会 (Social)、企業統治 (Governance) のリスク管理に関する国際基準を満たす企業を選定する「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄となっています。

▶ [FTSE4Good Index Series](#)

FTSE Blossom Japan Index^{※1}

環境、社会、ガバナンスについて優れた対応を行っている日本企業を選定する「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄となっています。

▶ [FTSE Blossom Japan Index](#)

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数

日本市場の動向を示す代表的な株価指数であるTOPIXをユニバーサルとし、環境情報の開示状況、炭素効率性 (売上高当たり炭素排出量) の水準に着目して、構成銘柄のウエイトを決定する指数であるS&P/JPXカーボン・エフィシエント指数の構成銘柄となっています。なお当社の評価は十分位数で「4」で保険業では4位、開示ステータスは「開示」となっています。

当社グループは、国内外のESGインデックスに組み入れられています。(2024年7月時点)

MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数^{※2}

▶ [MSCI ESG Leaders Indexes](#)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI 日本株女性活躍指数^{※2}

▶ [MSCI 日本株女性活躍指数 \(WIN\)](#)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

米国のMSCI Inc. が選定する「MSCI ESG セレクト・リーダーズ指数」、「MSCI 日本株女性活躍指数」の構成銘柄に選定されています。

Dow Jones Sustainability Indices

2023年12月に発表された、S&P Dow Jones Indices社が提供するESG株価指数である「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に選定されています。また、2024年2月に発表された「サステナビリティイヤーブック2024」において、イヤーブックメンバーに選定されています。

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



※1 FTSE Russell (FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標) はここに第一生命ホールディングスを独立した立場で調査を行った結果、FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証明します。FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス (ESG) について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE4Good Index Series並びにFTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

※2 第一生命ホールディングスをMSCIインデックスに組み入れること、および第一生命ホールディングスがMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名を使用することは、MSCIまたはその関連会社による第一生命ホールディングスへのスポンサーシップ、賛同、または宣伝を表明するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産です。MSCIおよびMSCIインデックス名とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

外部組織との連携

社外からの評価・ 主な受賞

当社グループの取組みに対する主な表彰／社外評価

当社グループの取組みに対する主な表彰



プラチナくるみんプラス



健康経営銘柄 2024



なでしこ銘柄 2024



work with Pride
「PRIDE 指標」Gold 受賞
(2023)



Employer of Choice for
Gender Equality
(オーストラリア)



第4回 ESG ファイナンス・アワード・
ジャパン 投資家部門金賞
(環境大臣賞)



第3回 日経統合報告書
アワード 優秀賞

社外評価(2023年度)



第5回 日経SDGs経営調査
星4.5
(偏差値65以上～70未満)



東洋経済CSR企業ランキング
金融機関部門 第1位

(注) 東洋経済新報社が同調査への回答内容を基に選定した、
24年SDGs企業ランキングにおいても1位を取得



CDP 2023 気候変動質問書
A-



PRIアセスメント(2023年)

(注) 第一生命の採対対象である「ポリシー・ガバナンス・戦略」と「透明性確保のプロセス」において、最高評価である「5つ星」を獲得

4

 外部組織との連携
社外からの評価・主な受賞

第一生命グループに対する 社会からの評価・主な受賞

当社グループは、事業展開している各国にて、お客さま・地域社会に寄り添った取組みを進め、表彰を受賞しています。（2024年8月時点）

第一生命グループに対する社会からの評価・主な受賞

受賞会社	主催団体	表彰の名前	表彰の概要
プロテクトティブ	Newsweek	America's Best Customer Service	NewsweekによるAmerica's Best Customer Serviceは、周囲への推奨可能性、コミュニケーションの品質、専門能力、サービスの範囲、顧客重視、アクセスのしやすさの観点において、過去3年間にサービスを利用または詳細情報の依頼があったお客さまへの独立調査に基づいて企業を順位付けしています。同ランキングにおいて、Protectiveは総合点91.89の評価を受け、米国の生命保険会社部門で第1位に輝きました。
第一生命カンボジア	Charlton Media Group	Insurance Asia Awards	Insurance Asia Awardsは、保険商品およびサービス、ソリューションを通じてお客さまの生活の質の向上に寄与しているアジア太平洋地域の保険会社を表彰する制度です。同表彰において、第一生命カンボジアは2年連続カンボジアの年間最優秀保険会社賞を受賞しました。同社は今後も革新的で利用しやすい商品と関連サービスの提供を通じ、社会へのさらなる付加価値の提供に尽力し続けます。
オーシャンライフ	Office of Insurance Commission (OIC)	Life Insurance Company with Outstanding Sustainability Development Award	オーシャンライフは2023年、タイの保険規制当局である保険委員会事務局 (OIC) が主催する“The Life Insurance Company with Outstanding Sustainability Development Award”を受賞しました。この賞は、サステナビリティにかかる環境、社会、ガバナンスの面において最も優秀な保険会社に授与されるもので、オーシャンライフは、その事業を通じた「Sustainable with Love」ポリシーに基づく、サステナビリティへのコミットメント・取組みなどが高く評価されました。

